

建築設備の重要性を認識

那覇市長 親泊康晴



長堂収入役代読

沖縄県設備設計事務所協会並びに建築設備技術者協会九州支部沖縄会の設備懇親会が開催されるにあたり、一君ご挨拶を申し上げます。

本日は、平成12年度通常総会が無事終わられ、まことにおめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日頃より那覇市の建設行政に対しまして、ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げる次第であります。

さて、ここ数年の景気の低迷は、ようやく回復のきざしを見せつつありますが、しかしながら、建設業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。また、産業構造の変化、少子高齢化社会の到来、環境問題など、我々の身近な問題への対応がせまられているところであります。特に、『人にやさしい街づくり』を目指す那覇市にとりましては、環境や福祉に対する積極的な取り組みが要求されており、建築設備の重要性が大きくクローズアップされております。

ご承知のとおり、平成10年度にスタートしました那覇市の第三次総合計画も3年目を迎えました。これからも、21世紀の豊かな市民生活を目指し、その施策達成に努力してまいりますので、会員みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、日本で初の地方開催であり、20世紀最後のサミットとなる『九州・沖縄サミット』が、今年7月に開催されました。世界遺産への登録が予定されている首里城での政府主催首脳夕食会も計画実施されて、本市においても沖縄の特異な歴史や文化そして平和を希求する心等、世界にアピールする絶好の機会ととらえ、その成功に向け、全力をあげて取り組んだところであります。

さて、平成12年度は、繁多川市営住宅、宇栄原小学校改築工事の設計、那覇新都心公営住宅整備工事、葬祭場建設工事など、多くの設計及び工事を予定しており、今年度もご協力下さいますようお願いいたします。

会員の皆様におかれましては、協会組織の充実はもとより、建築設備のエキスパートとして、これまで以上に技術力の向上に研鑽され、建設業界のみならず地域社会の発展に大きく寄与されますよう、お願い申し上げます。

終わりに、貴協会のみならずのご発展と、ご参会の会員皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのごことばといたします。

